

メディウムとワニス【アクリル絵具・応用編】

アクリル絵具のメディウム

油絵具に表現の幅を広げる専用の画用液があるように、アクリル絵具にも豊富なメディウムがあります。今回はアクリル絵具のメディウムを紹介いたします。

■光沢の調整に使うメディウム

つや出し用のメディウムが**グロスメディウム**です。これは、アクリル絵具に使われている固着成分そのものです。絵具に混ぜると、つやと透明感が増します。色に深みが出て、絵具の流動性が高まります。グレース技法や強い接着力を利用したコーラージュに適したメディウムです。その反対に、つやを消すのが**マットメディウム**です。アクリル絵具には本来、光沢がありますが、マットメディウムを混ぜて描くと、乾燥とともに光沢が消え、マットな画面になります。

また、透明感のある盛り上げに用いるのが**ジェルメディウム**です。絵具に混ぜると、厚い色ガラスのような光沢のある透明膜ができます。厚塗りの盛り上げや、筆のタッチを活かしたときに使います。コーラージュ技法にも適しています。

ジェルメディウムの仲間はいくつ以外に、仕上げ塗りに適した**ジェルメディウムハード**、シャープなエッジの盛り上げやコーラージュ技法に最適な**ジェルメディウムハイスリッド**、つや消しの**ジェルメディウムマット**などがあります。画風や技法に応じて使い分けてください。

■技法に応じて用いるメディウム

リターディングメディウムと**ペンチングソルベント**があります。前者はアクリル絵具の乾きを遅らせるメディウムで、筆あとの残らない平滑面をつくり、ぼかしやグラデーションに適しています。通常はアクリル絵具に20〜30%混ぜて使いますが、少し多め(30〜40%)に混ぜればシルクスクリーンも目詰まりなくスムーズ

にできます。後者は描画用のうすめ液です。絵具に混ぜると筆のびがよいため、均一な線を描いたり、おつゆ描きに効果を発揮します。アクリル絵具をこれで溶けば、エアブラシもノズルのつまりなく、細かくスムーズに吹けます。

アクリル画のワニス

テンペラなどと違って、アクリル画はカビの心配がありません。しかし、空気中のホコリやタバコの煙がつくとこれにくくなるおそれがあります。また、絵具に使われているカドミウム系の顔料は、湿気を含んだ状態で太陽光線に当たると黒ずむことがあります。油絵と同様に、完成後のアクリル画には画面保護のためのワニス引きが必要です。

アクリル画用のワニスとして、筆で塗る**クリスタルバーニッシュ**と、スプレー式の**グロスバーニッシュ**があります。前者は表面に堅牢な塗膜をつくり、ホコリなどの付着を防ぎ、アクリル画にすぐれた光沢と透明感を与えます。後者も同様に、日光、湿気、ホコリ、タバコの煙などから作品を守り、画面の光沢を増します。グロスバーニッシュは再溶解性ですので、数年後でもベトリールやテレビンで落とせます。

その他に、固まったアクリル絵具を除去する製品として、**リムーバー**と**ストロングクリーナー**があります。リムーバーははくり剤。筆について固まったアクリル絵具も、この液に浸しておけばほとんどとれます。ストロングクリーナーは洗浄液。ハンドピースの固まったアクリル絵具もきれいにとり除きます。



マット メディウム



グロス メディウム

ホルベイン絵具に関する
ご質問・ご相談は…

ホルベイン絵具 技術サービスセンター TEL.0729 (85) 1223
〒579-8063 東大阪市横小路町4-10-52
電話受付時間/9:00~16:00 月~金曜日(祝日を除く)



ホルベイン絵具